



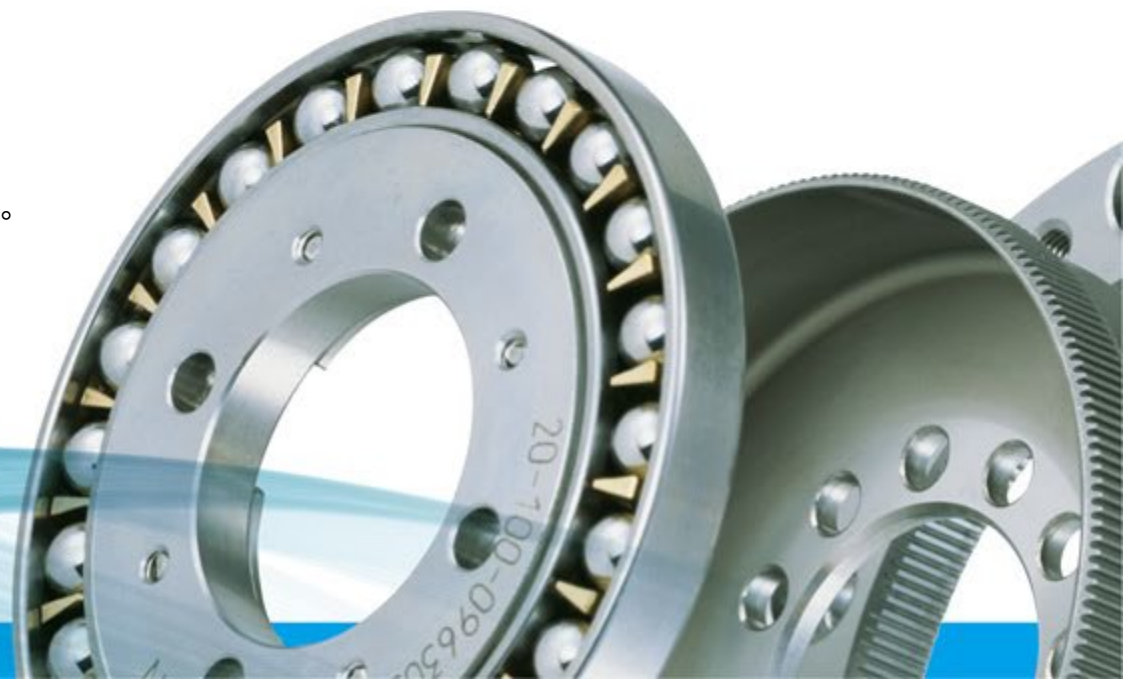
Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ 2025年3月期 決算説明資料

2025年5月20日

このプレゼンテーション資料には、2025年5月20日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変化等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。



2025年3月期 決算の概況

2025年3月期 連結業績(対業績予想比)

直近の業績予想は2025年4月24日に公表したのですが、ここでは2025年1月16日付公表数値との対比を記載しています

単位: 百万円

	業績予想(2025年1月16日発表)		25年3月期		対従来予想比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	54,000	100.0	55,645	100.0	1,645	3.0
営業利益	▲ 400	—	6	0.0	406	—
経常利益	▲ 500	—	151	0.3	651	—
当期純利益	3,600	6.2	3,473	6.2	▲ 126	▲ 3.5
EPS (円)	37.90	—	36.57	—	▲ 1.33	▲ 3.5

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

2025年3月期 連結業績(対前期比)

単位:百万円

	24年3月期		25年3月期		対前年同期比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	55,796	100.0	55,645	100.0	▲150	▲0.3
営業利益	124	0.2	6	0.0	▲117	▲94.4
経常利益	570	1.0	151	0.3	▲419	▲73.5
当期純利益	▲24,806	—	3,473	6.2	28,280	—
EPS (円)	▲261.00	—	36.57	—	297.57	—
設備投資額	4,955	—	3,765	—	▲1,189	▲24.0
減価償却費	10,362	—	8,023	—	▲2,339	▲22.6
研究開発費	3,613	—	3,776	—	162	4.5

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。
※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(のれん含む)に係る償却費の合計額を表示しております。

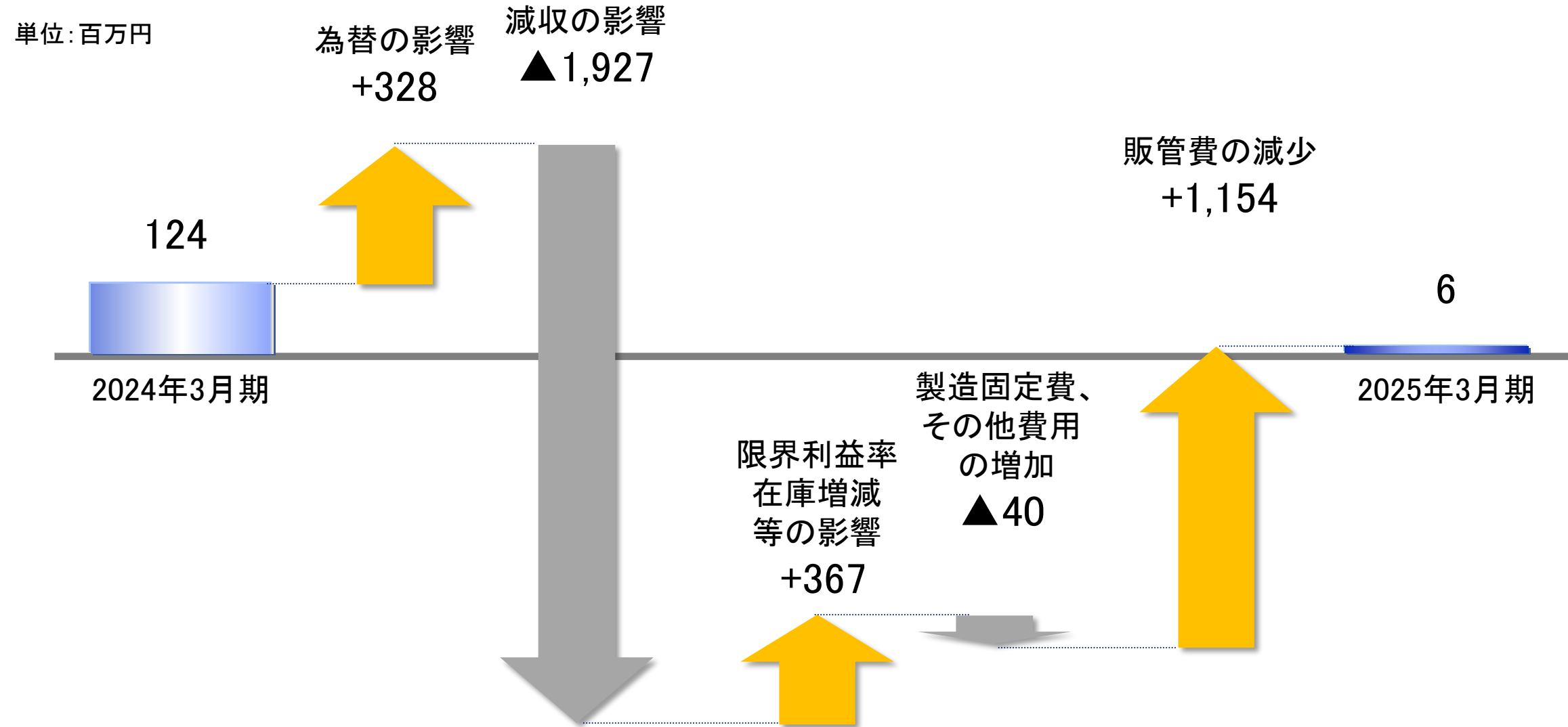
2025年3月期 主要グループ会社の業績

単位: 百万円

	出資比率	売上高		営業利益	
		金 額	対前期 増減率(%)	金 額	対前期 増減率(%)
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (100%)	11,641	▲12.5	570	▲67.2
(株)ハーモニック・エイディ	100%	2,059	7.1	▲45	—
(株)ハーモニックプレシジョン	100%	3,108	47.4	▲425	—
※3 哈默纳科(上海)商贸有限公司 (中国)	100%	5,624	30.9	509	20.5
※4 ハーモニック・ドライブ・エスイー (ドイツ)	100%	16,797	0.3	587	▲70.5

※1 海外子会社の決算日は12月31日です。
※2 為替レート 2023/12期: 1US\$ = 140.56円 2024/12期: 1US\$ = 151.58円
※3 為替レート 2023/12期: 1元 = 19.82円 2024/12期: 1元 = 21.02円
※4 為替レート 2023/12期: 1€ = 152.00円 2024/12期: 1€ = 163.95円

2025年3月期 連結営業利益 対前期比増減要因



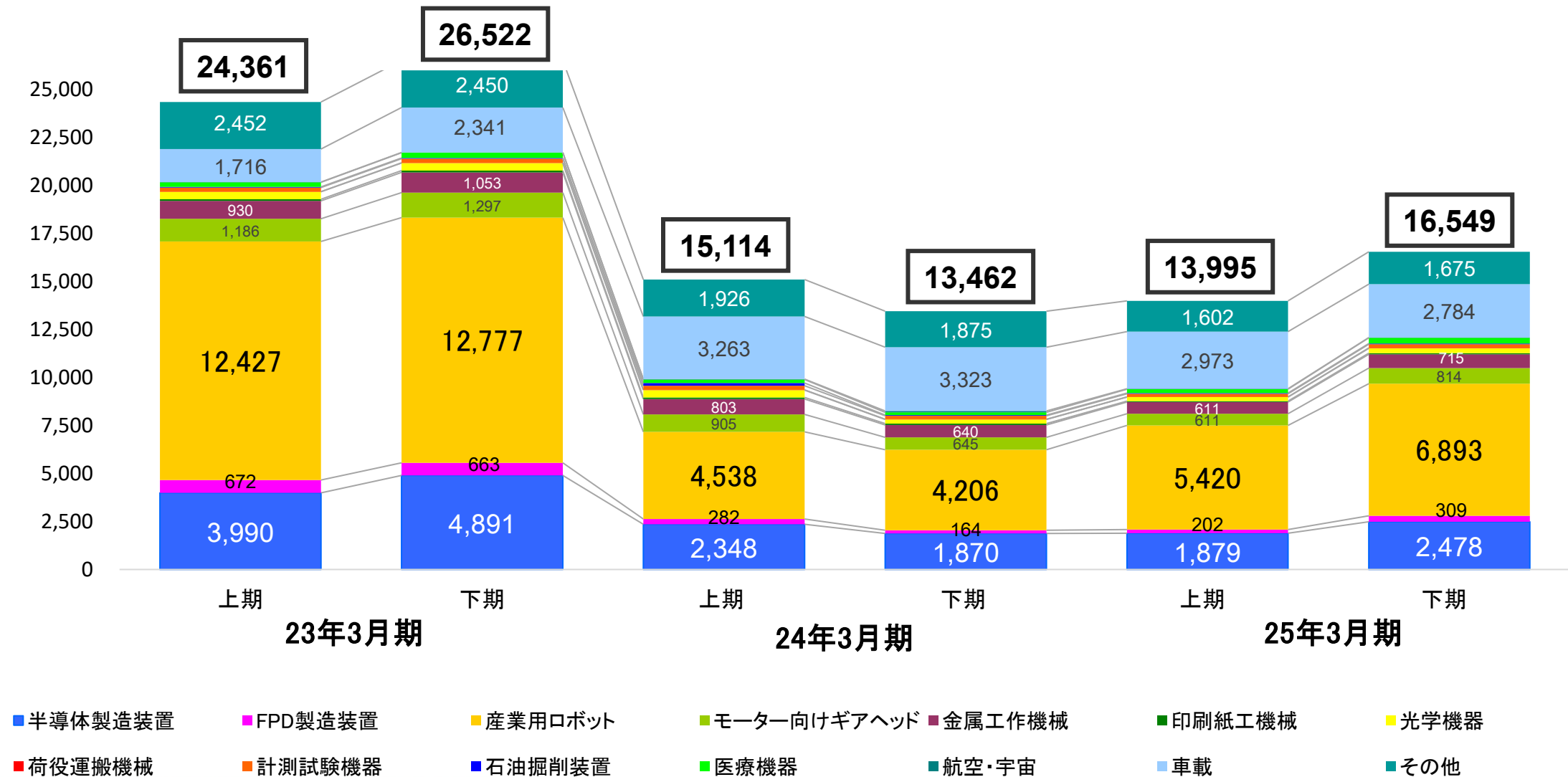
2025年3月期 単体業績(対前期比)

単位:百万円

	24年3月期		25年3月期		対前年同期比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	28,577	100.0	30,544	100.0	1,967	6.9
営業利益	▲542	—	▲187	—	354	—
経常利益	2,288	8.0	187	0.6	▲2,101	▲91.8
当期純利益	▲18,460	—	4,174	13.7	22,635	—
EPS (円)	▲194.23	—	43.96	—	238.18	—
設備投資額	3,275	—	1,889	—	▲1,386	▲42.3
減価償却費	4,761	—	4,504	—	▲257	▲5.4
研究開発費	2,327	—	2,365	—	38	1.7

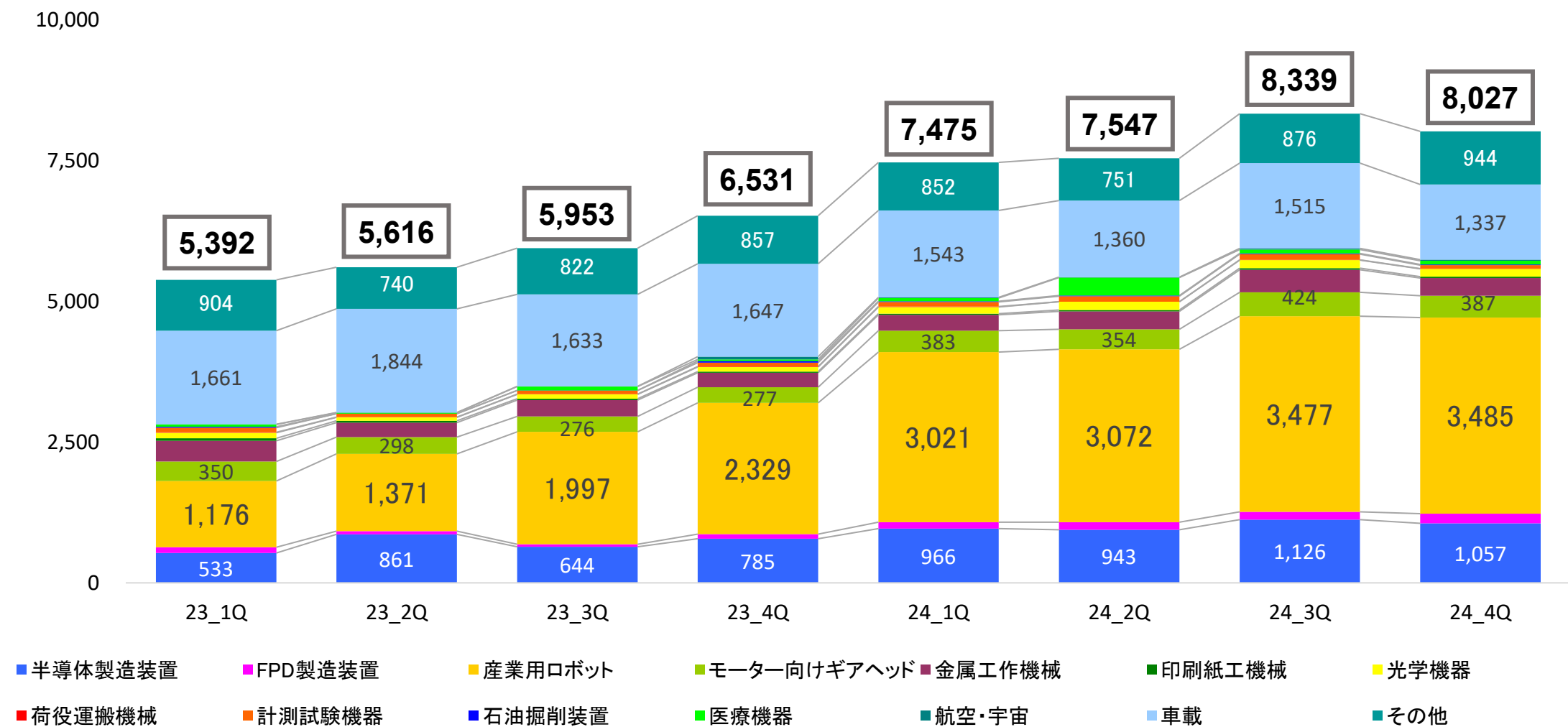
単体用途別売上高

単位: 百万円



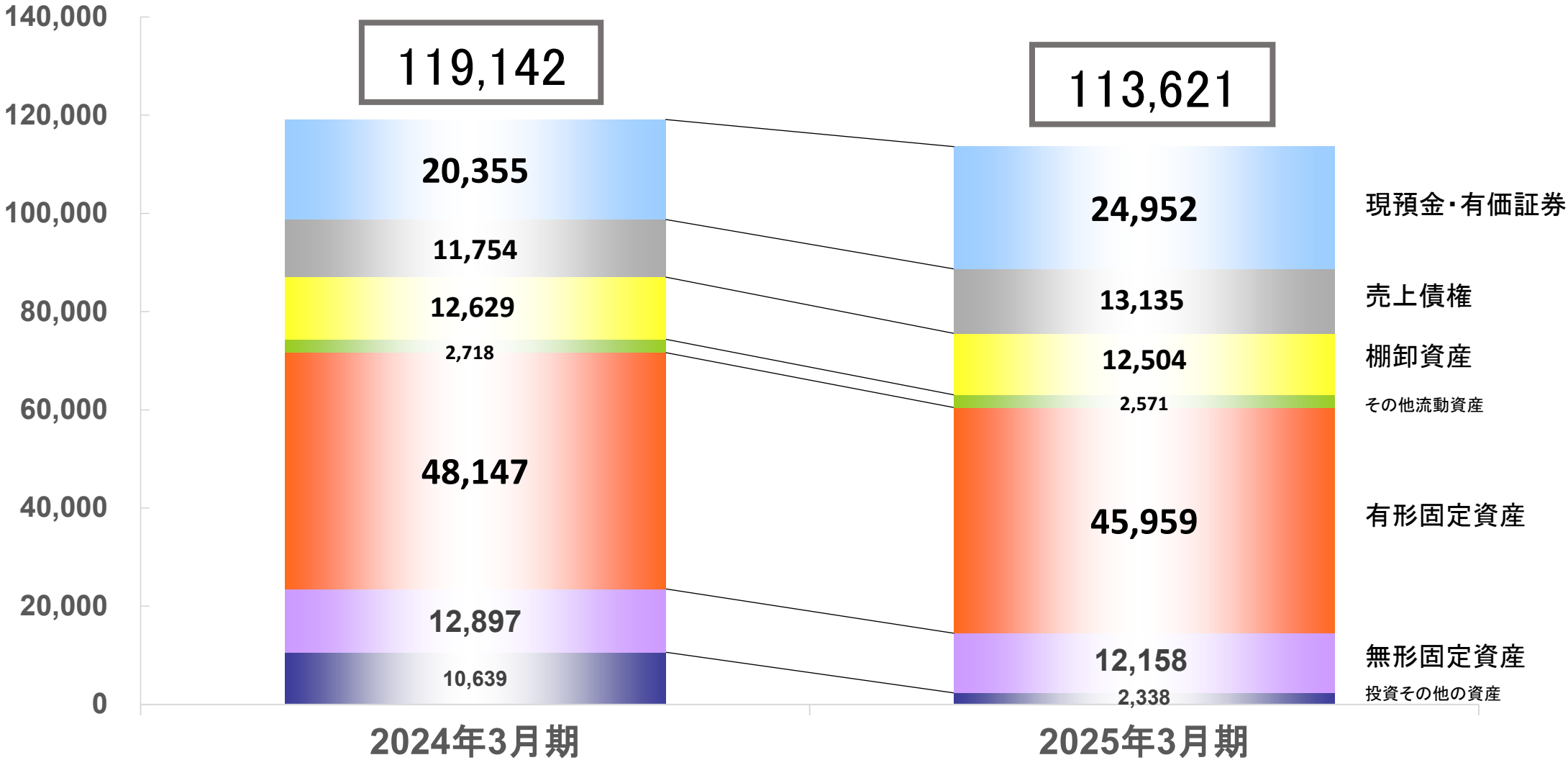
単体用途別受注高【四半期】

単位: 百万円



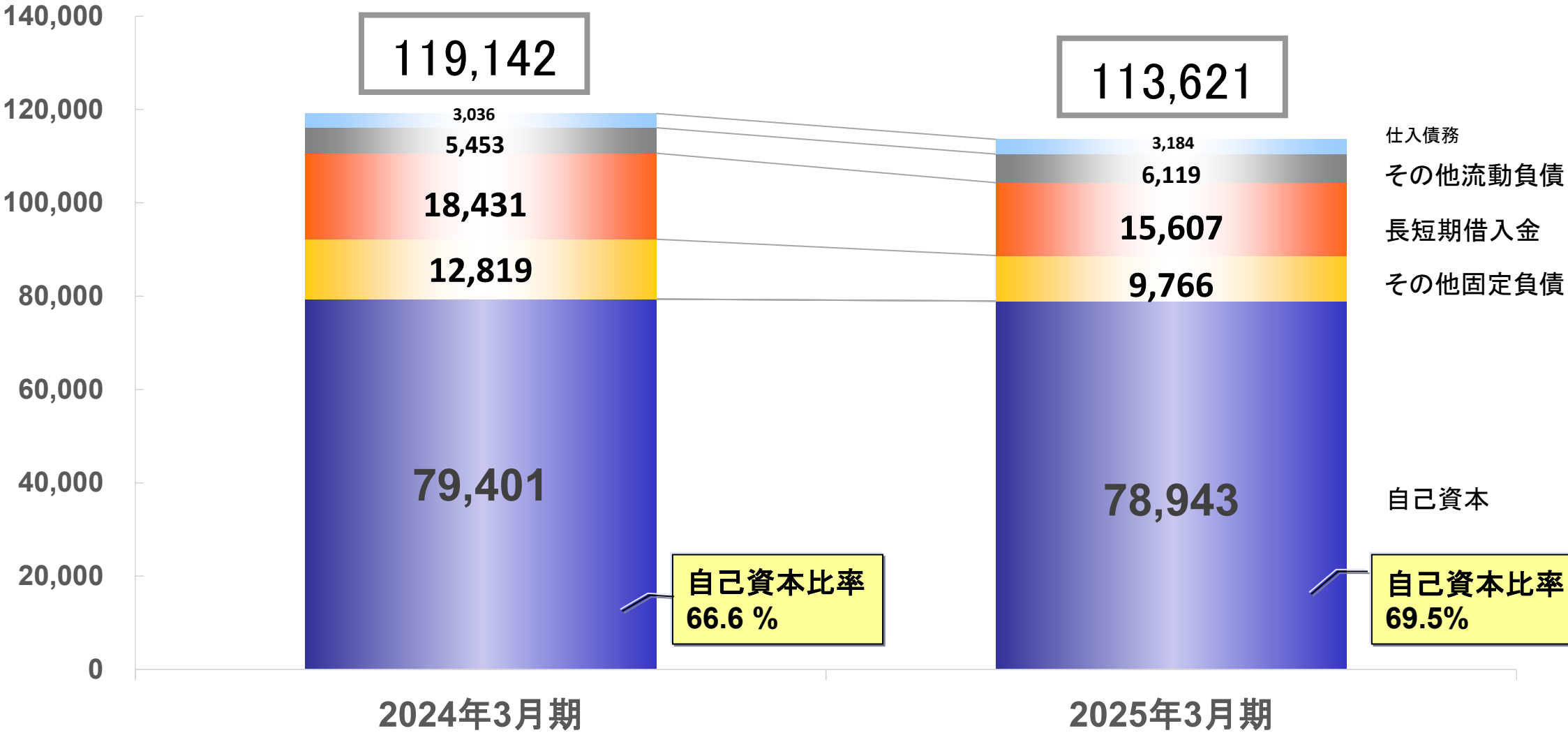
連結資産の状況

単位: 百万円



連結負債純資産の状況

単位: 百万円



連結キャッシュ・フローの状況

単位: 百万円

	2024年3月期	2025年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,728	7,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲5,950	1,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲8,122	▲5,874
換算差額	363	859
現金及び現金同等物の増(▲減)額	▲980	3,981
現金及び現金同等物の期末残高	18,941	22,923

2026年3月期 業績予想

2026年3月期の業績予想

通期予想は未定とし、第2四半期累計期間のみを公表

- 米国の関税政策が当社グループの下期業績に与える影響を合理的に算定することが困難であるため
 - ◆ 当社グループは米国に生産拠点を有し、米国における製品の需要の7割程度を現地生産していることから、当社グループが直接的に負担する関税コストの増加は限定的と見込む
 - ◆ 一方で関税政策の影響が、当社グループのお客様が販売する製品需要に与える影響（当社グループにとっては、下期の受注・売上高に与える間接的な影響）を見通すことは困難である

通期業績予想は、今しばらく関税等の動向を慎重に見極めたうえで、算定が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

2026年3月期第2四半期(中間期) 連結業績予想

単位: 百万円

	25年3月期第2四半期(中間期)		26年3月期第2四半期(中間期)		対前年同期比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	26,559	100.0	27,000	100.0	440	1.7
営業利益	▲637	—	300	1.1	937	—
経常利益	▲828	—	200	0.7	1,028	—
中間純利益	▲850	—	300	1.1	1,150	—
EPS (円)	▲8.95	—	3.16	—	12.11	—
設備投資額	2,403	—	3,656	—	1,252	52.1
減価償却費	3,936	—	3,345	—	▲590	▲15.0
研究開発費	1,936	—	1,921	—	▲15	▲0.8

※26年3月期第2四半期(中間期) (予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥140.00 1€ = ¥155.00 1元 = ¥20.00
※中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益の額を表示しております。
※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産に係る償却費の合計額を表示しております。

2026年3月期第2四半期(中間期) 単体業績予想

単位: 百万円

	25年3月期第2四半期(中間期)		26年3月期第2四半期(中間期)		対前年同期比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	13,995	100.0	15,500	100.0	1,504	10.8
営業利益	▲727	—	100	0.6	827	—
経常利益	▲699	—	0	0.0	699	—
中間純利益	▲701	—	100	0.6	801	—
EPS (円)	▲7.38	—	1.05	—	8.43	—
設備投資額	1,343	—	2,647	—	1,303	97.1
減価償却費	2,175	—	1,856	—	▲319	▲14.7
研究開発費	1,186	—	1,271	—	84	7.1

※26年3月期第2四半期(中間期) (予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥140.00 1€ = ¥155.00 1元 = ¥20.00

2026年3月期第2四半期(中間期)

主要グループ会社の業績予想

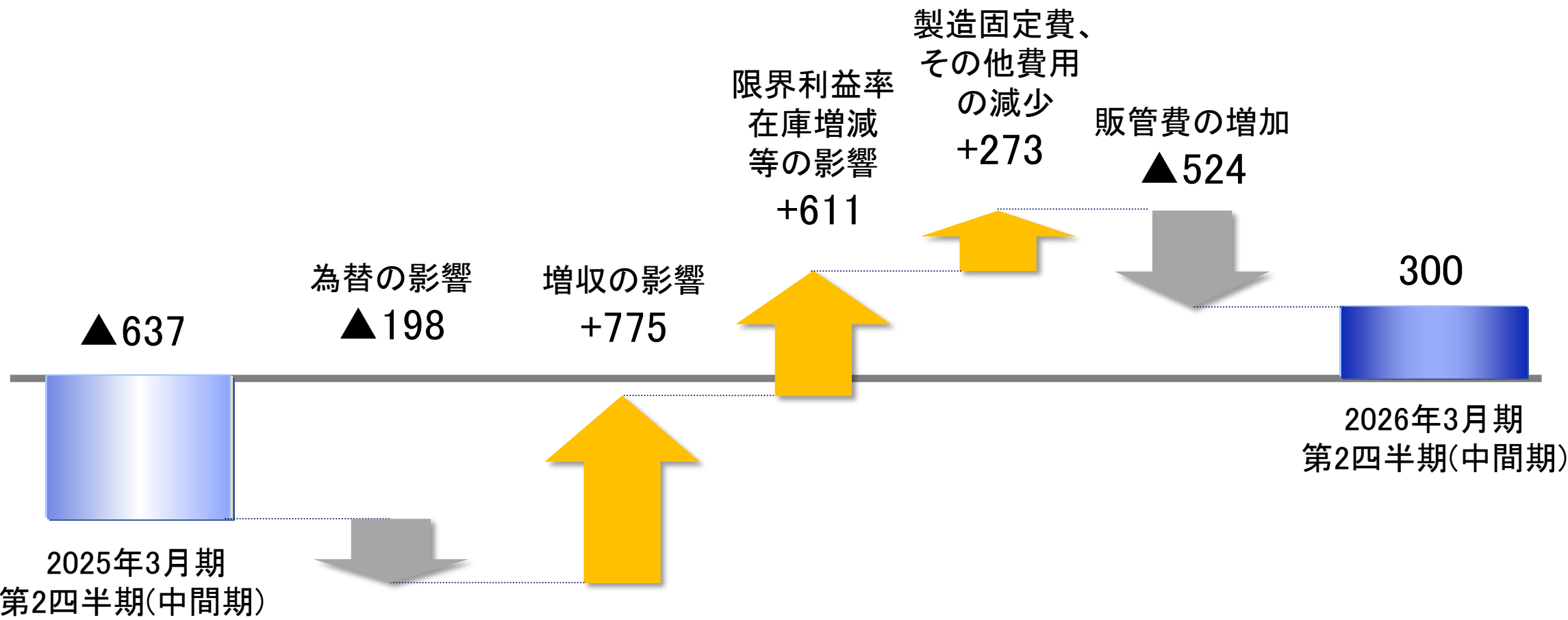
単位:百万円

	出資比率	売上高		営業利益	
		金 額	対前年同期 増減率(%)	金 額	対前年同期 増減率(%)
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (100%)	5,321	▲8.1	101	▲59.9
(株)ハーモニック・エイディ	100%	1,165	19.1	14	—
(株)ハーモニックプレシジョン	100%	1,658	9.7	25	—
※3 哈默纳科(上海)商贸有限公司 (中国)	100%	2,092	▲30.4	139	▲57.9
※4 ハーモニック・ドライブ・エスイー (ドイツ)	100%	7,782	▲4.5	493	94.1

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。
※2 為替レート 2024/12期:1US\$=151.58円 2025/12期予想:1US\$=140.00円
※3 為替レート 2024/12期:1元=21.02円 2025/12期予想:1元=20.00円
※4 為替レート 2024/12期:1€=163.95円 2025/12期予想:1€=155.0円

2026年3月期第2四半期(中間期) 連結営業利益 対前期比増減要因予想

単位: 百万円



今後の展望

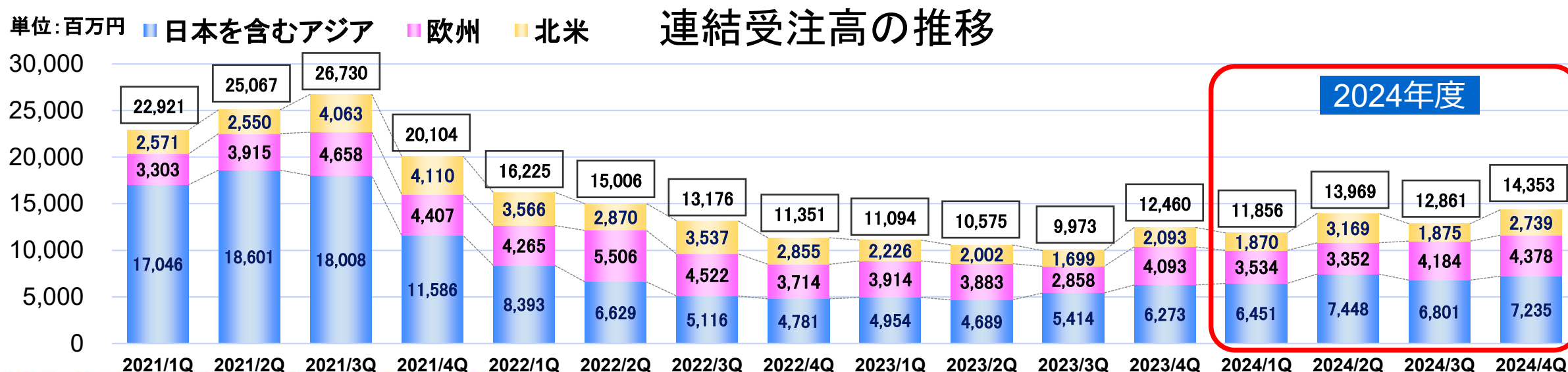
1. 2024年度の需要動向 振り返り

1-1. 連結 地域別の受注状況

北米 2Q、4Qに一部顧客からの一括受注があったものの、半導体関連顧客の在庫調整は継続

欧州 欧州経済の停滞はあるものの、受注は底堅く推移

日本を含むアジア 中国・欧州のエンドマーケットの需要低迷により、受注の回復スピードが想定を下回る一方で顧客における当社製品の在庫適正化は着実に進む

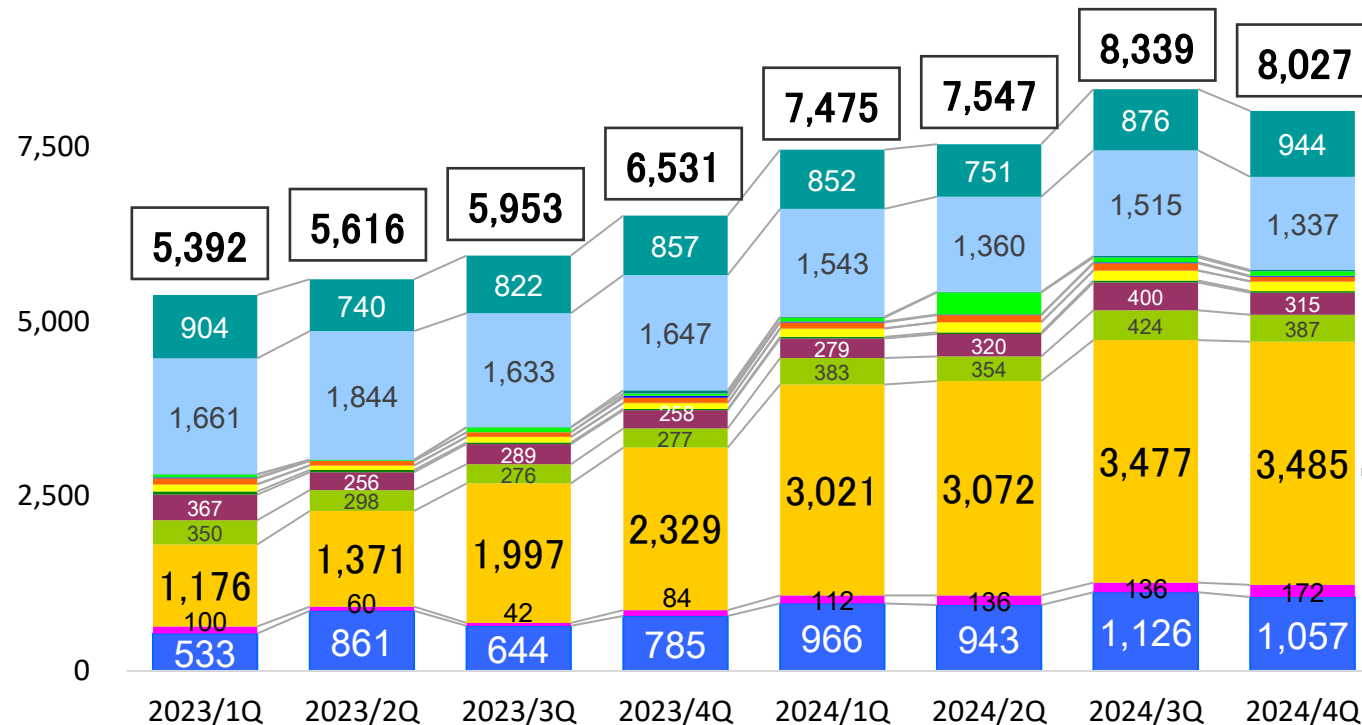


1-2. 単体用途別受注状況

単位: 百万円

10,000

単体用途別受注高の推移



- 半導体製造装置
- 金属工作機械
- 計測試験機器
- 車載
- FPD製造装置
- 印刷紙工機械
- 石油掘削装置
- その他
- 産業用ロボット
- 光学機器
- 医療機器
- モーター向けギアヘッド
- 荷役運搬機械
- 航空・宇宙

2024年度状況

車載

- ・日系完成車メーカーの中国・北米市場における販売不振により減少傾向

産業用ロボット

- ・AI・ヒト型ロボット含む新規案件および、中国ローカルロボットメーカーのハイエンド志向拡大が受注増加に寄与
- ・既存主要顧客における当社製品在庫の適正化は進むが、市場全体の回復は想定以上に緩やか

半導体製造装置

- ・AI関連を中心とした先端半導体が需要をけん引するが、市場の完全な回復には至らず
➡半導体製造装置向け当社製品の需要が伸び悩む

2. 2024年度の取組み

2-1. 2024-2026中期経営計画基本方針

「価値創出と変革」への挑戦

①何をしていくのか

収益性を重視した全事業の持続的な成長

②そのために何が必要なのか

環境変化に適合できる経営資源（ひと、もの、かね、情報）の強化

③サステナビリティ

未来に続く企業価値向上への取り組み

2-2. 2024年度における取組み

①収益性を重視した全事業の持続的な成長

➤ 新たな成長ドライバーの開拓

- ・AI・ヒト型ロボット関連のプレイヤーとの関係構築
- ・中国市場のシェア拡大(2023年9.3%→2024年12.1%)
Source : 株式会社エム・アイ・アール 「2024年中国精密減速機市場分析レポート」
 - 中国ローカルロボットメーカー向けがけん引
- ・新技術創出のため、他社との協業開始

➤ 顧客期待値に応えるQCDS+Speedの徹底

- ・新たな全社コスト革新PJの発足
 - 高止まりの物価・人件費高騰の中でも、2024年度営業利益を約3億円改善
- ・中国現地組立の拡大

②経営資源の強化

➤ 工場IoT化

- ・有明工場のMES稼働により業務効率UP
→2025年度以降、他工場へ展開
(想定効果:約16,000時間/年の間接工数削減)

➤ 効率的な生産拠点の配置

- ・ハーモニックウィンベル社にメカトロニクス製品の生産事業を完全移管

③未来に続く企業価値向上への取組み

➤ サステナビリティ基本方針に基づく活動

- ・CDP水セキュリティで「Aリスト」企業に選定
- ・グループ人権方針の策定
- ・サプライヤーのリスクアセスメント実施
- ・政策保有株の縮減(約85億円)
- ・任意の指名報酬委員会の発足

3. 今後の動向

3-1. 中国ロボット市場におけるローカルメーカーの台頭

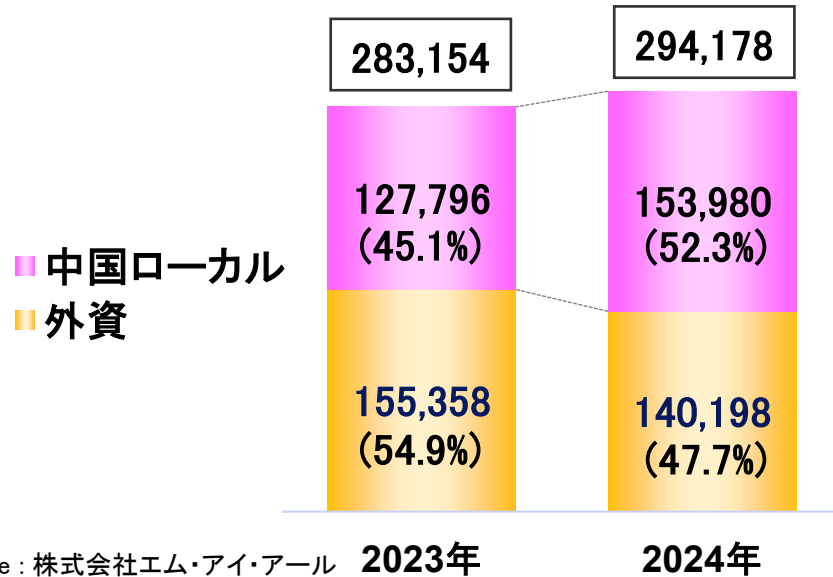
■中国ロボット市場におけるローカルメーカーのシェア拡大

- ・特に人協働型ロボット、小型ロボットのシェアが急拡大

■中国ローカルロボットメーカーのハイエンド志向

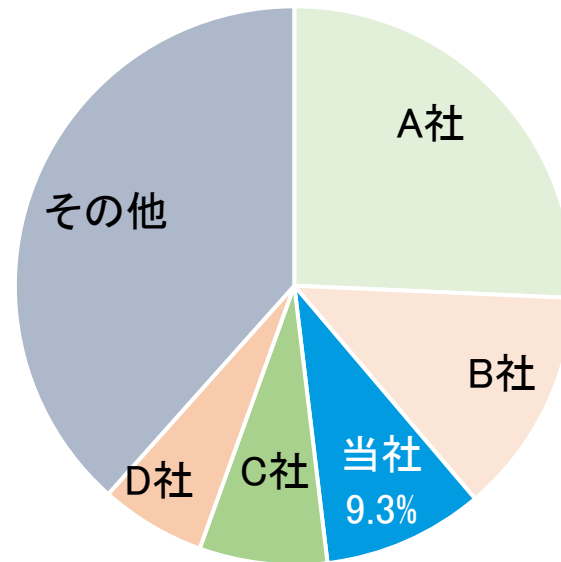
- ・大手が国際競争力の獲得に向けた信頼性向上と安定調達に目を向ける
➡当社製品採用機会拡大

①中国の産業用ロボット出荷台数

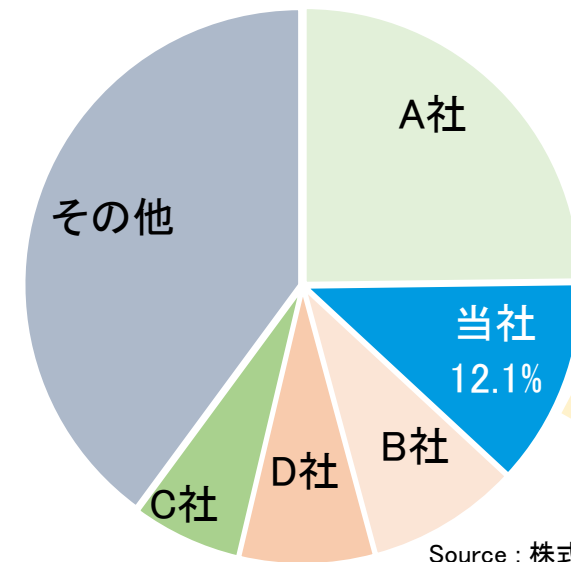


Source : 株式会社エム・アイ・アール
「2024年中国産業用ロボット市場データ分析レポート」

②中国波動歯車装置市場における出荷台数のシェア



2023年



2024年

中国市場に
おける
ハイエンド向け
売上台数の
増加により
シェア拡大

Source : 株式会社エム・アイ・アール
「2024年中国精密減速機市場分析レポート」

3-2. 半導体製造装置、車載

➤ 半導体製造装置

■ 当社グループの半導体関連のお客様の受注は徐々に増加を予測

- ・サーバー用AI半導体向けの半導体製造装置が好調
- ・ロジック・ファウンドリー、DRAM 向けは強弱はあるが全体は堅調
- ・米中関税動向で先行き不透明感も



➤ 車載

■ 日系完成車メーカーの販売伸び悩みの影響を、新車種への搭載拡大でカバー

- ・中国・北米における販売不振
- ・北米では新車種への搭載拡大
- ・車載向け生産ラインは、需要動向に応じて柔軟に対応

4. 新たなアプリケーション

4-1. 当社とヒト型ロボットの歴史

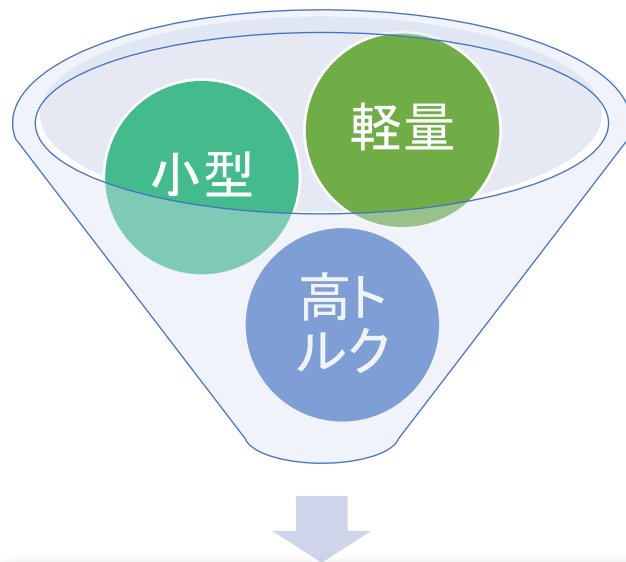
ヒト型ロボットに初めて採用！！

改良を重ね

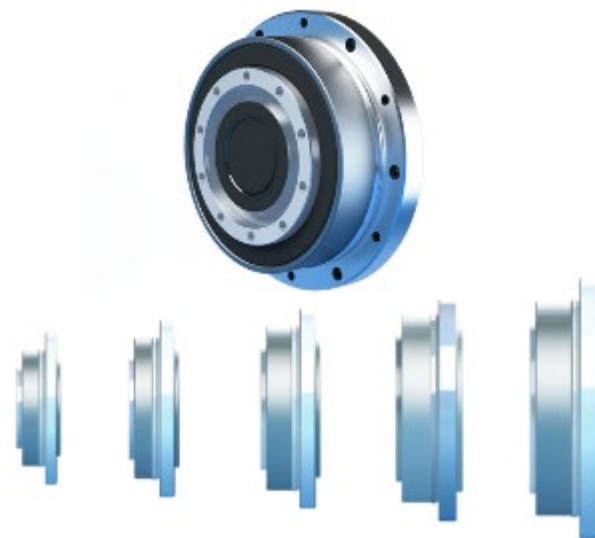
さらに薄く、さらに軽く



提供：本田技研工業株式会社様



ヒト型ロボットにベストフィット？



カップ型でトルクをそのままに
小型・軽量を実現

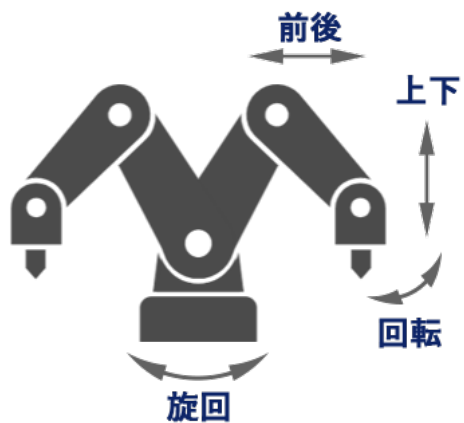
現在複数社と取引開始

4-2. 期待するアプリケーション

一般的な減速機の所要数

双腕 (スピード)

双腕ロボットの主な4つの運動

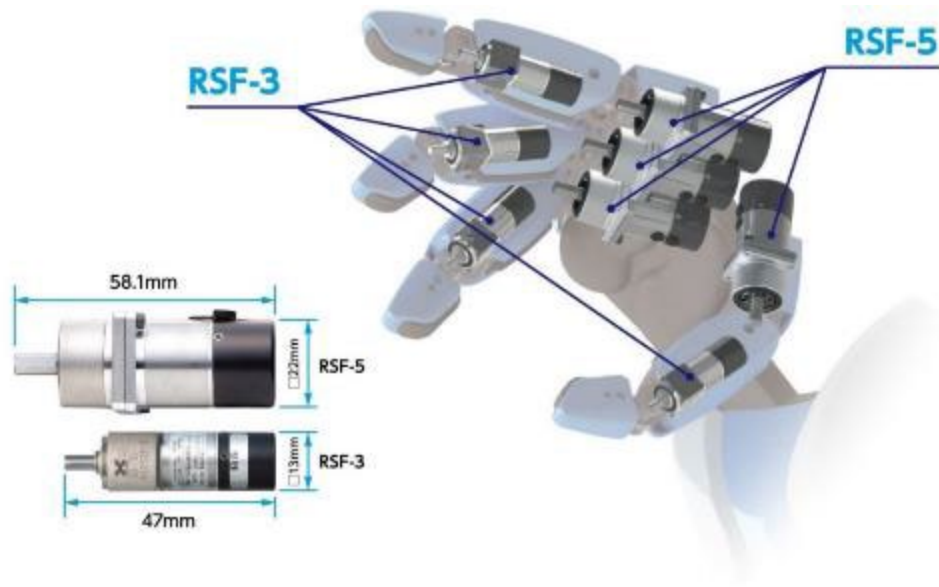


1. 回旋運動
2. 前後運動
3. 上下運動
4. 回転運動

軽量・コンパクト・中空

双腕 × 6軸 ÷ 12軸

ヒューマノイドハンド (把持力・器用さ)



小型・高精度

5指 × 3軸 ÷ 15軸

下肢

(効率・低消費電力)



高効率・重くてもよい

両足 ≥ 8軸

4-3. 現状のAI・ヒト型ロボット開発企業と当社との係わり

■量産フェーズ

ベンチャーを含む複数社向け量産供給確定

■開発フェーズ

新たな市場を形成すると確信しているヒューマノイドロボット分野で、
参入機会を探る大手企業各社とのコラボレーションを開始

- ・各社の得意分野を織り込んだ特徴あるアクチュエーターを開発
- ・把持力を有するロボットハンドの共同開発

➡ AI、先進ソフトウェアに追従できるロボットアームの開発

4-4. 宇宙産業

人類の活動領域が宇宙空間に拡大することによる製品用途の広がり

➤ 光衛星通信

- ・光衛星通信とはレーザー光を使って人工衛星間や地上との間で通信を行う技術
- ・当社グループ製品がTESAT社の光衛星通信の端末に採用
- ・宇宙空間における高精度・長寿命が評価



提供: Tesat-Spacecom GmbH & Co.KG様

➤ 宇宙空間の有人・無人活動

現在

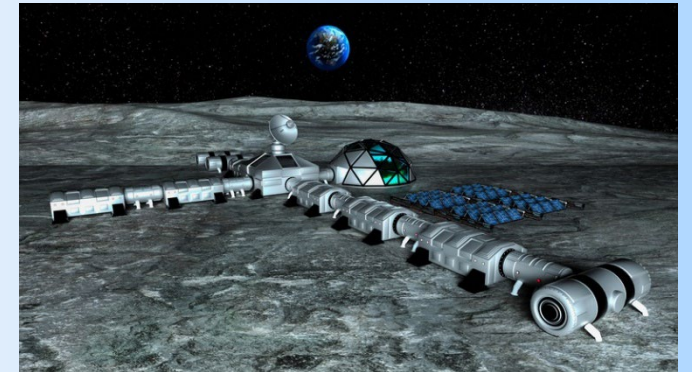


提供: JAXA(宇宙航空研究開発機構)様
トヨタ自動車株式会社様

探査



建設



・AI・ヒト型ロボットの活躍の場

4-5. e-Mobility

➤ eVTOL(電動垂直離着陸機)

- ・お客様の商業運航開始(2025年後半又は2026年初頭)に向けて当社グループはeVTOL向け減速機の量産準備に着手
- ・大阪・関西万博でデモ飛行を予定



➤ 都市型小型EV

- ・Lean Mobility
- ・最先端のセンシングと制御技術により、安全で爽快な運転を実現
- ・車両の傾きを最適に制御しながら走行するアクティブブリーン技術に当社製品が採用
- ・2025年末～2026年初頭の市場投入に向け加速



提供: Lean Mobility株式会社様

5. 2025年度の取組み

5-1. 2025年度における取組み

①収益性を重視した全事業の持続的な成長

- 新たな成長ドライバーの開拓
 - ・「AI・ヒト型ロボ用途」、「中国大手ローカルロボットメーカー」への深耕
 - ・ニーズを先取りするアクチュエーターの市場投入
 - ・低コストを実現する新たな製造方法にチャレンジ
- 顧客期待値に応えるQCDS+Speedの徹底
 - ・“全社コスト革新PJ”の拡大と深耕（目標10億円）
 - ・顧客視点で競争優位性の高い製品をお客様に提案

②経営資源の強化

- 工場IoT化
 - ・DX推進による各業務プロセスの効率UP
- 資本効率を意識した成長投資
 - ・戦略的パートナーシップによる協業拡大
 - ・投資費用の削減・スペースの最小化・生産性などを考慮した最適な設備選定と遊休設備の活用

③未来に続く企業価値向上への取組み

- サステナビリティ基本方針に基づく活動
 - ・情報開示体制の強化
 - ・サステナブル調達の強化
 - ・人権デューデリジェンスの実施
 - ・ステークホルダーエンゲージメントの向上



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

2024～2025年のサステナビリティピックアップ

2024年4月:「第38回ハーモニックコンサート」(長野県安曇野市)を開催

2024年5月:Robotics Summit 2024 (ボストン)にスポンサーとして協賛

2024年5月:「第22回ハーモニック講演会」(長野県松本市)を開催

2024年5月:「47th Aerospace Mechanisms Symposium」で
JAXAとの共同研究を発表

2024年6月:信州安曇野ハーフマラソンにゴールドパートナーとして協賛

2025年2月:2024年度CDP水セキュリティで最高位「Aリスト」に選定

